



胃切除術後における食事と運動の多職種連携 によるサポート

がんになっても安心して働き暮らせる情報サービス

胃の手術をした後、食事や体力低下などでお困りの方・相談をしたい方は、是非、ご参加ください。
多職種の専門家とディスカッションを通して、解決策の糸口を見出していただきたいと思います。

主催：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究種目：基盤研究（C）

IPA-GP研究会

代表：国際医療福祉大学保健医療学部看護学科 教授 糸井 裕子

開催日：平成26年 **12月6日（土）**

開催時間：**14：00～16：30（受付：13：00～）**

会場：国際医療福祉大学三田病院 11階三田ホール

プログラム

総合司会 郷間 悦子 国際医療福祉大学 教授

1. プレゼンテーション（14：00～14：45）

- ・胃切除術後に食事量が増えない理由 14:05～14:15 吉田 昌 国際医療福祉大学病院 教授（医師）
- ・食事と栄養 14:15～14:25 鈴木 美智江 国際医療福祉大学三田病院 管理栄養士
- ・術後の回復に向けての運動 14:25～14:35 原 毅 国際医療福祉大学三田病院 理学療法士
- ・食事と運動を促進する生活の仕方 14:35～14:45 糸井 裕子 国際医療福祉大学 教授（看護師）

休憩（14：45～15：00）

2. 患者様とともに効果的な食事と運動について討議（15：00～16：15）

- ・胃切除後の日頃の食事と運動に対する取組について
- ・日頃の食事と運動に対する取組についての問題点と効果的な方法について

総括：糸井 裕子 国際医療福祉大学 教授

どなたでも無料でご参加いただけます。当日参加も可能です。

●問い合わせ先：

国際医療福祉大学 総務課 TEL：0287-24-3000

12月6日のワークショップの申し込みですと申し出てください。

参加費 無料